

チームスポーツの喜びを味わえる

小学校体育科フラッグフットボール指導の工夫 —戦術的な動きを段階的に身に付ける活動を取り入れて—

体育・保健体育班 山岸 敬幸（小学校教諭）

《ボール運動における児童の実態》○運動が得意な子どもだけが活躍する。 ○戦術の面白さが分からない。
○みんなで一つのことを成し遂げるといった経験が少ない。

【研究のねらい】

フラッグフットボールの学習において、戦術的な動きを段階的に身に付けさせる活動を取り入れることで、児童がボール運動の戦術的な面白さが分かり、チームスポーツの喜びを味わうことができることを実践を通して明らかにする。

☆フラッグフットボールってどんなスポーツ？☆

- ①ルールが簡単！…ボールを遠くまで運べば高得点です。
- ②ボール操作が簡単！…鬼遊びの延長で楽しめます。
- ③みんなが活躍！…一人一人に大切な役割があります。
- ④作戦が大切！…アイデアの共有や作戦についての話し合いが大切な知的なスポーツです。

「ボール」 楕円形のボールです。この形は、ボールを持って走るのに適しています。

「フラッグベルト」腰に付けてプレーします。ハチマキやタオルで代用することもできます。



こんな用具を使います。

ステップ1 基本的な戦術的動きの習得

チーム内で、3対2のアウトナンバー（攻撃の人数を1人多くする）によるゲームを行う。

動画で、お手本の動きを確認する。

作戦ボードとコマを使って、動き方を確認する。

右サイドを走り抜けるぞ！

私は「ブロック」をして、仲間が走る道をつくるぞ！

基本的な戦術的動きを確実に身に付けることができた。

ステップ2 習得した戦術的動きの活用

他チームとの対戦に向けて、チームでオリジナルの作戦をつくり、成功した作戦を蓄積していく。

自分のチームのオリジナル作戦を考える。

考えた作戦を実際にやってみる。

タイミングが大切だね

うまくいかなかったところを修正しよう！

ボール運動の戦術的な面白さを理解することができた。

ステップ3 チーム戦術の探究

自分のチームのよさや相手チームの特徴に応じた作戦を立て、他チームとのゲームで試行する。

2点とれば逆転だね。どの作戦を選ぶのがよいと思う？

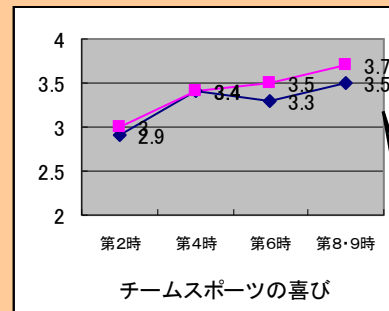
僕のところに高いボールでパスを投げて。相手チームは絶対にとれないよ。

チーム戦術を深めることができた。

実践の結果

<質問項目>

- あなたはチームが一つになったように感じましたか？
- ◆チームのみんなで成し遂げたという達成感がありましたか？



チームが一つになった！

みんなの力でやり遂げた！

*数値は、4段階自己評価[◎…4 ○…3 △…2 ×…1]の平均値

フラッグフットボール大会

力を合わせて、みんなでできた！

チームスポーツの喜び

<成果>

○運動が得意な児童も苦手な児童もそれぞれが役割をもって活躍し、チームスポーツの喜びを味わうことができた。

<課題>

○3対2のアウトナンバーから3対3のオープンナンバーに移行したときに戸惑う児童が見られた。学習内容をより明確にして授業をしていきたい。
○本研究では、攻撃の方法として「パスプレー」も取り入れたが、児童の実態によっては「ランプレー」に限定したゲームにするなど、場やルールを工夫することが必要である。